

## 町民活動団体紹介 21

### より良い地域づくりのため活動をしている団体を紹介します

#### 団体名 二胡を愛する会

##### ◆活動内容

- ・各種施設訪問、イベント参加
- ・4教室24名(他教室と合同)参加による年1~2回の親睦コンサートの開催

##### ◆活動日 毎月第1・3水曜日 13時30分~15時30分

##### ◆活動場所 きらり館、ホープ館

##### ◆会員数 4名(野木教室) 指導：李涛(りとう)先生

##### ◆ひとこと 中国の楽器、二胡の音色に魅せられています。優しい、易しい、楽しい教室です。私達と一緒に奏でましょう。体験参加待ってます。



町民活動とは、営利を目的とせず、社会的な課題の解決に向けて町民が主体となって行う社会貢献活動のことです。

・当団体については……問小杉 邦子 ☎080(5878)6222

みなさんも楽しく、元気に町民活動、ボランティア活動に取り組んでみませんか。ご興味のある方は、ボランティア支援センターきらり館まで、お気軽にお問い合わせください。

・町民活動等については…問ボランティア支援センターきらり館 ☎0280(23)1231

## 広報連絡委員レポート No.416

### 野木神社とお祭り



広報連絡委員  
石川 清

五街道の一つ日光街道は、日本橋を出発し、分かれたり一つになったりして栗橋で利根川を渡り、中田宿跡で左右に分かれ、古河の出口、野木町の入口で再合流します。

その合流点が野木小学校に近いところで、ちょうど栃木県の入口で野木町の玄関口です。その国道4号と合流する交差点の手前に野木町煉瓦窯、その入口の先の鳥居が野木神社の一の鳥居で、約五百mの参道が続き、その先に約1200年前に植えられた大イチョウの英姿があります。そして、そこに20数年前から住みついているフクロウのヒナが毎年数羽巣立ちます。

この神社の先で国道4号と合流すると、栃木県最初の宿場の野木宿です。現在は案内板と野木宿道標が立っているだけです。

この栃木県最南端で、県の入口野木町の玄関にある野木神社は、約1200年以前に「坂上田村麻呂」が蝦夷征伐を祈願し、平定後、その帰途に祈願成就お礼として、野渡の台手箱の地の宮を現在地へ社殿造営し移したといわれており、例年12月3日は「提灯もみ」という奇祭と言われる祭りが行われています。

これは、かつて氏子の七つの村々を回った「七郷巡り」の際、七郷で半裸姿の男子が手に手に提灯を持ち打ち付け合い、神霊を迎える風習があったそうで、「七郷巡り」は現在も行われませんが、神社参道で冬の夜空に約4mの竿の先に提灯を着けて、男達が激しくもみ合う様子は、現在も見る者を圧倒し興奮させる、まさに奇祭と呼ぶにふさわしいものです。

戦前までは「七郷巡り」は美しく飾り立てた五頭の新馬と、それぞれに神霊の宿る銚子を持った神主が分乗して行列を組み、半裸の若者が各郷から参加して、高張り提灯をかざし参加したものと伝承されています。

形は変わっても、その習わしが伝わっている事は、嬉しく、誇らしいものです。